

釣船寺たより

発行所 釣船寺
〒300-0641
茨城県稲敷市
浮島3583-1
029-840-7778

今年もよろしくお願ひします

新しい年を迎えました。皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

皆さまの御家庭では、お正月を迎えるにあたり、鏡餅をお供えしたと思ひますが、早くも一月十一日の鏡開きも過ぎて、月半ばに差し掛かりました。鏡餅は刃物で切る事を忌み嫌うことから、供えた餅を手で食べやすい大きさに分け、おしるこや雑煮、あげ餅などにして食します。今年一年の健康や良運を祈る事により、家族のきずなを深めるとてもいい風潮です。

私たちはこのように、お供えした鏡餅を食することで、そのご利益を得られますが、仏様やご先祖様にお供えした仏飯や飲み物は見た目には全く減りませんね。仏様やご先祖様は、本当に召し上がっているのでしょうか。御心配いりません。仏様にお供

えするということとは、単にお食事や飲み物といった目に見える者を差し上げるだけでなく、私たちの真心を差し上げる事です。その、お供えしようという真心が、仏様やご先祖様にとつて最高のご馳走なのです。

先祖代々のご先祖様の過去の積み重ねがあり、今こうして私たちが新しい年を迎えられるのです。たくさんの人たちの支えがあつて、今ここに生かされています。私たちは未来に向かって、何が出来るのでしょうか。



年頭にあたり、支えてくれた方々に感謝をして、未来につなぐために、しっかりとした日々を過ごしたいものです。皆さまの健やかな一年を心からお祈りし、年頭の御挨拶といたします。

雑誌で紹介されました

高速道路のサービスエリアで無料配布されている「ハイウェイカー」に釣船寺が掲載されました。秋に、神社・寺院体験に行きたいという特集の中で、禅寺で坐禅をしようという記事内容です。これを機に、毎月第一、第三日曜日に開催されている、釣船寺坐禅会への問い合わせも多く寄せられ、新しいメンバーの方が増えております。浮島の皆様も、是非一度、早朝のお寺に足を運んでみてはいかがでしょうか。

ハスのおはなし

ここ浮島は、云わずと知れたハスの名産地であります。ハスは仏教のシンボルです。水中に根を伸ばし、美しい花を水面から咲かすハスは、清らかに仏道を行ずる修行者の象徴であり、ハスの葉が水をはじくところは、世間にある執着の心の教えと重なります。お釈迦様の薬箱にもハスの花が入っていたそうです。下痢やコレラ、肝臓病、解熱、止血、利尿作用もあるそうです。

釣船寺の住職と呼ばれたのもまさに仏縁といえるかもしれませぬ。

本堂建設にあたって

今年の本堂建設に向けて、いよいよ本格的に始動します。各地区代表の総代様方がお忙しい中、定期的にお集まりくださり、会議を重ねております。アンケートの集計も昨年末に終了し、今年から寄付金の積み立ても始まる予定です。皆さまのご先祖様、亡き大切な方を見守ってこられた、ご本尊様の御堂（本堂）が、立派に建設されることを願ひます。

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参の折、郵便振込でも結構です。